

# 株主通信 2023

2022年3月1日 - 2023年2月28日 (第41期)

# Mission

社是

## 技術で社会に貢献する

ソーバルグループにとって、最大の資源は人材です。  
常に新しい技術に挑戦し続け、豊かで夢のある社会づくりに貢献し、  
技術者が輝く会社を目指します。



# Vision

経営ビジョン

新しい技術や分野を積極的に取り入れ、  
暮らしを豊かにするビジネスを実現する

お客様の「満足」から、  
一歩先の「感動」を提供できる企業となる

エンジニアの挑戦を支援し、  
「エンジニアがワクワクできる会社」日本一を目指す



# Value

ソーバル人の行動規範

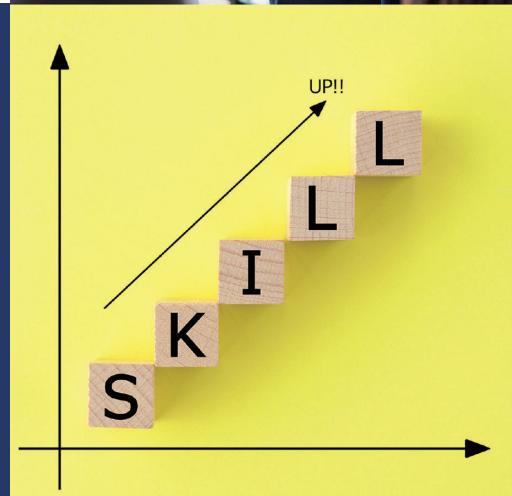
仕事の中に喜び、楽しみを。

人にやさしく、仕事に厳しく

お客様の未来を考えます

新たな技術に挑戦し、日々前進

未来に誇れる自分であれ





## 目次

2. Mission・Vision・Value
3. 目次
- 4 - 5. 代表メッセージ
- 6 - 7. ソーバルグループ概要
8. 2023年2月期の概況
9. 2024年2月期の展望
10. トピックス
11. 中期経営計画
12. 業績ハイライト
13. 財務諸表
14. 株主優待／配当金
15. 株式基本情報／株主情報
16. 会社情報／株式手続き

# 代表メッセージ



企業にとって、最大の資源は人材です。

ソーバル株式会社

代表取締役社長 兼 最高経営責任者

しいづ あつし  
推津 敦

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

企業にとって、最大の資源は人材です。

私どもは、高い意識と技術をもつ人材が充実した環境で働くことが価値あるテクノロジーを生み出す近道だと考え、社員が技術力と人間力を高めることのできる環境を一貫して構築してまいりました。

また、コンシューマ向け製品をはじめ、WEB、医療、自動車関連など幅広い分野のお客さまのニーズに真摯にお応えし、従来のソフトウェア開発に留まらず、組込み・ハードウェア開発、マニュアル制作、自動運転技術、IoT、AIなど技術の提供領域を広げてまいりました。更に、システム開発をワンストップ受注できるこれまでの体制をより一層充実させるために、グループ各社との協業や人的・技術的交流を通してシナジー効果を日々追求しております。

デジタル変革によって、私たちは利便性や効率性をスピーディに追求できる時代に生きています。その結果、新しく生まれてくるモノやサービスもあれば、無くなったり、形を変えたりなど、あらゆる領域で大小様々な変化に直面しています。

弊社は、こうした新たな未来に向かって、「技術で社会に貢献する」という1983年創業以来の理念のもと、私たちの社会にとって真に豊かな時代の創造を目的として、更なる高みを目指してまいります。

そして、お客さまのご要望がますます多様化・高度化している時代にあっても、長年にわたって築き上げた信頼と実績をベースに、品質の高いサービスを提供してまいります。

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい始めた初期の段階から、当社グループでは持続可能なテレワーク環境の整備や時差出勤などの対策を進めてまいりました。現在もソーバルのテレワーク率は70%を超え、働き方の多様性についても定着してまいりました。どのような環境下であっても、お客様へ感動を提供できるよう常に新しい技術に目を向け、事業の継続に邁進してまいります。

今後とも引き続き、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# ソーバルグループ概要

## ソーバル株式会社

～組み込みからAIまで、豊富な開発実績と最先端技術への取り組み～

ソーバルは、国内でも有数の「組み込み開発」の独立系企業として高い評価をいただくとともに、「電子回路設計」「アプリケーション開発」「スマートデバイスアプリケーション開発」「WEB・クラウド開発」「マニュアル制作・WEB制作」など多岐にわたるソリューションを提供しております。

さらに、これらITソリューションの提供を主たる事業としつつ、自動運転分野・AIを活用した開発など最先端技術への取り組みにも力を注いでおります。

社会環境の急速な変化にともなって、求められる技術も多様に進化を遂げています。

ソーバルは、社員一人ひとりがこれら新旧の技術を日々追求し糧とすることによって、お客様の様々な声に応える柔軟性と機動力を発揮しております。

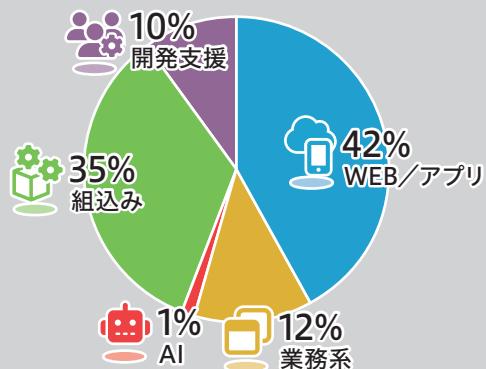


社名	ソーバル株式会社
本社所在地	東京都品川区北品川5-9-11
設立	1983年1月
資本金	2億1,426万円
事業内容	エンジニアリング事業 アプリケーション開発、WEB・クラウド開発、 組み込み開発（ソフトウェア・ハードウェアの 設計開発）、マニュアル制作

### 主な開発実績

- ・WEB・クラウドシステム
- ・企業向け業務系システム
- ・スマホアプリ
- ・デジタルカメラ・ビデオ
- ・自動運転
- ・医療統計解析
- ・各種マニュアル制作
- ・AIデータ分析 など

### ソーバルグループ 分野別売上構成比



## 株式会社コアード

～企業向け業務システム開発をワンストップで受注～

# CORERD

株式会社コアード

社名	株式会社コアード
本社所在地	東京都港区芝浦4-16-23
設立	1987年2月
資本金	2,000万円
事業内容	コンピュータソフトウェアの開発 コンピュータシステムのコンサルティング

コアードは、企業が使用する「業務システム」の開発を得意とし、富士通グループの戦略パートナーとして、流通業を中心に出版・印刷業界から、住宅・不動産、金融、スポーツ分野など幅広い業界で必要とされるシステム開発を行っております。品質第一主義を掲げ、上流工程から下流工程まで一括で仕事を請負い、長年の開発業務で培った技術力と人間力でお客様のご要望に応えます。



## アンドールシステムサポート株式会社

～ニッチな強みを持つシステム開発の老舗企業～



システムに挑戦する

アンドールシステムサポート株式会社

社名	アンドールシステムサポート株式会社
本社所在地	東京都品川区南品川2-15-8
設立	1969年11月
資本金	9,900万円
事業内容	ハードウェア設計・開発・製造 ソフトウェア等の受託開発

アンドールシステムサポートは、ユーザーのシステム開発を支援する「システムサポート」という業務を、日本で初めて企業化した会社です。設計・開発のみの受託開発だけでなく、企画～設計・開発～生産～品質管理といった製品開発のすべての工程を担うODM事業を核に、物流システム開発事業、JTAGテスト・Pickeringテスト・Arm純正開発ツール等、各種ツール販売事業を展開しています。



# 2023年2月期の概況 (2022年3月1日～2023年2月28日)

## 2023年2月期・実績 (対前年同期末比)

売上高 **8,159**百万円  
(-0.1%)

営業利益 **643**百万円  
(+6.6%)

経常利益 **657**百万円  
(+3.0%)

親会社株主に帰属  
する当期純利益 **683**百万円  
(+52.8%)

## トピックス

### 2022年8月1日付 品質評価事業の承継 (事業譲渡)

## 結果

品質評価事業譲渡により今期への影響はおよそ-6億円  
案件選択と高稼働により高い収益性を実現  
品質評価事業の譲渡による特別利益が発生

当社グループでは、期初に想定していた大型の一括受託案件のうち一部が受注に至らなかったものの、それを上回る他の受注を確保するとともに、想定していた外部委託を内製に切り替えて稼働率の向上に繋げることができました。

また、社内研修制度を見直し、プロジェクトマネージャーとデジタルトランスフォーメーション(DX)が推進できる技術者の育成にも取り組んでまいりました。

一方で、事業の選択と集中に取り組み、8月1日付で「品質評価」サービス事業に属する権利義務を、株式会社AGESTへ会社分割(簡易吸収分割)の方法により承継させております。それに伴い特別利益に事業分離における移転利益371百万円を計上しております。

また、当社グループのアンドールシステムサポート株式会社におきましては、2023年1月を以って大阪事業所を閉鎖しております。これに伴い特別損失に減損損失22百万円を計上しております。

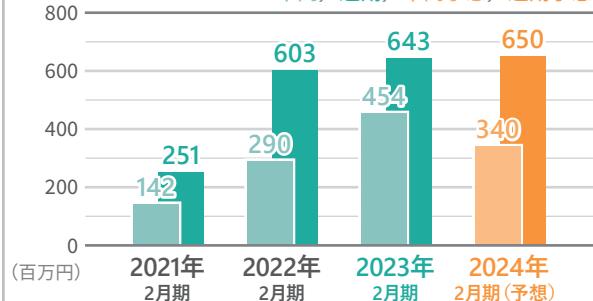
## 売上高

中間/通期/中間予想/通期予想



## 営業利益

中間/通期/中間予想/通期予想



# 2024年2月期の展望

(2023年3月1日～2024年2月29日)

## 2024年2月期・予想

(対前年同期比)

売上高 **7,670**百万円  
(-6.0%)

営業利益 **650**百万円  
(+1.0%)

経常利益 **660**百万円  
(+0.5%)

親会社株主に帰属  
する当期純利益 **440**百万円  
(-35.6%)

## テーマ

各事業の力強い躍進と経営課題の解決

## ポイント

品質評価事業譲渡により売上は減少、利益は微増と予想  
AI人材の育成と、PM・PLの確保をより加速化  
10～30億円規模のM&A模索と新規案件獲得営業への注力

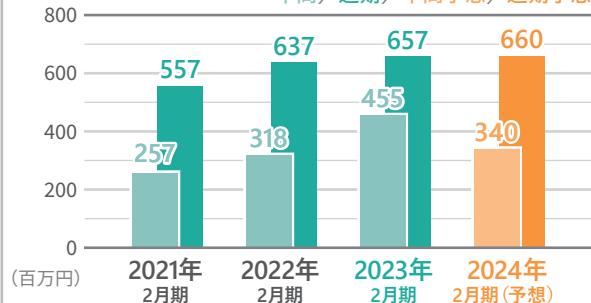
当社グループは、2023年2月期から2027年2月期の5か年を対象とした中期経営計画を推進しており、次期はその2年目に当たります。

次期についてもWeb/アプリケーション及び業務系システム開発分野における顧客ニーズは底堅く推移する見通しで、引き続きトレンド技術の習得のほか、上流工程への参画や顧客への提案活動ができる技術者ならびにDXが推進できる技術者の育成強化に注力してまいります。

また、AI分野を今後の成長の柱に据えており、自らが主役としてオープンイノベーションの中心に立ち、「グループ内人材の活用」「外部人材の登用」「外部企業との協業」「技術向上」「顧客と案件開拓」という5つのテーマを同時かつ不断に進めてまいります。

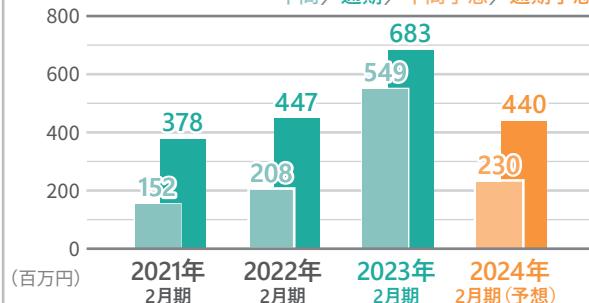
## 経常利益

中間/通期/中間予想/通期予想



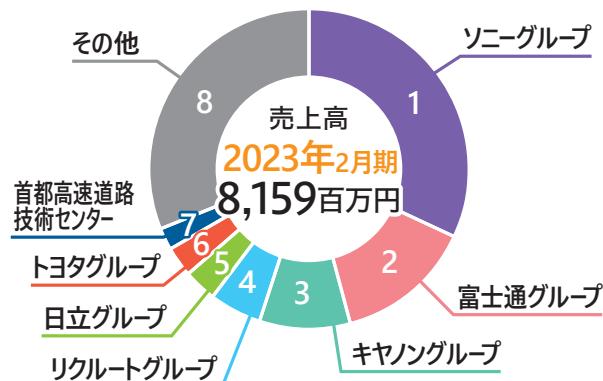
## 親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益

中間/通期/中間予想/通期予想

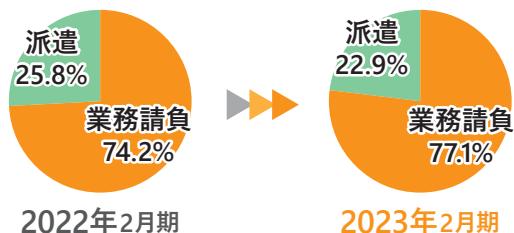


# トピックス

## 売上構成比



順位		2022年2月期	2023年2月期
1	ソニーグループ	31.0%	32.2% (+1.2)
2	富士通グループ	11.7%	13.7% (+2.0)
3	キヤノングループ	7.7%	9.2% (+1.5)
4	リクルートグループ	4.4%	5.2% (+0.8)
5	日立グループ	3.5%	3.5% (±0.0)
6	トヨタグループ	3.2%	3.0% (-0.2)
7	首都高速道路技術センター	0.2%	2.2% (+2.0)
8	その他	38.3%	31.0% (-7.3)



## 新しい働き方への投資/オフィスリニューアル



### 執務スペース

エンジニアの執務席はパーソナルスペースの確保と座り心地・負担の少なさを追求したエルゴノミックなチェアの導入により、業務の快適性と集中力の向上を実現しました。

### コミュニケーションスペース

オフィスの中央に大規模な休憩エリアを新設。希薄になりがちなコミュニケーションの醸成やON/OFFの切り替えができるようになりました。



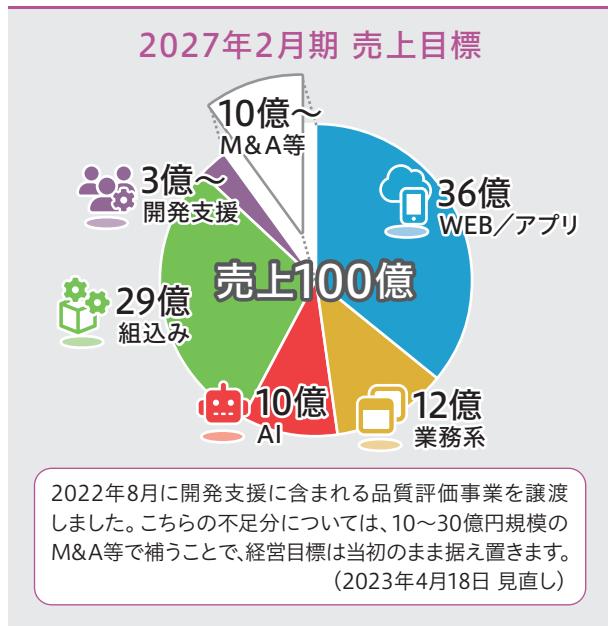
### ミーティングスペース

予約不要な小規模ミーティングスペースを用意。手軽にミーティングを行うことができます。防音ブースではテレワーク勤務者とのWEB会議も快適に行えます。



# 中期経営計画

## 経営目標



## 主要施策

AIを成長の柱と位置付け、人材の育成と販路の拡大に努めます。



## 行動計画

### WEB/アプリ

高いニーズに支えられ、多くの案件に恵まれている現状において、トレンド技術の習得・新規END案件獲得・「一括受託」プロジェクトの多数実施で、競争優位性を磨く。

### 業務系

上流工程への更なる参画と、Salesforce/SAPなどを利用した開発への積極的な展開を行うと同時に、ユーザへの提案活動ができる技術者を育成する。

### AI

自らが主役としてオープンイノベーションの中心に立ち、「グループ内人材の活用」「外部人材の登用」「外部企業との協業」「技術向上」「顧客と案件開拓」を同時かつ不断に進める。

### 組込み

より高い難易度の案件を獲得するために、最新技術の研究や学習を継続的に行う。また新規の優良顧客を獲得し、一括受託の比率を高めるために更なる顧客信頼度を高める。

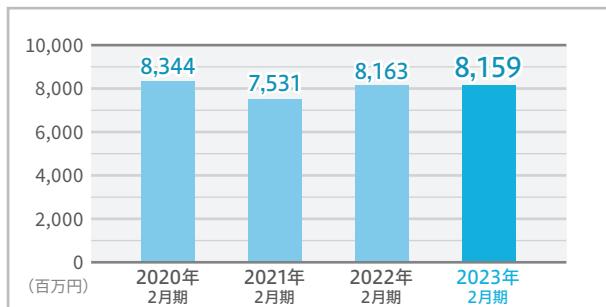
### 開発支援

開発系、AI系との相乗効果により高付加価値化を目指す。

※目標グラフが「3億～」となっておりますが、品質評価事業との分離時の計算見直しにつき、5～7億を目標数字とする予定としております。  
(2023年4月18日 追記)

# 業績ハイライト (連結)

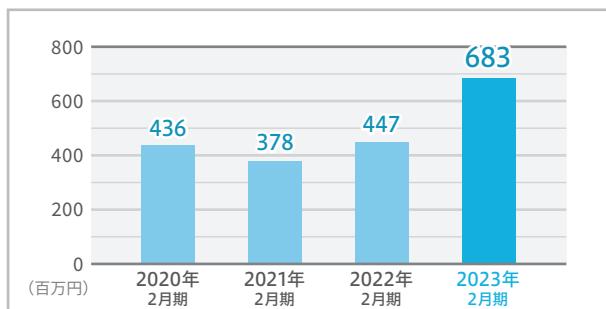
## 売上高



## 経常利益



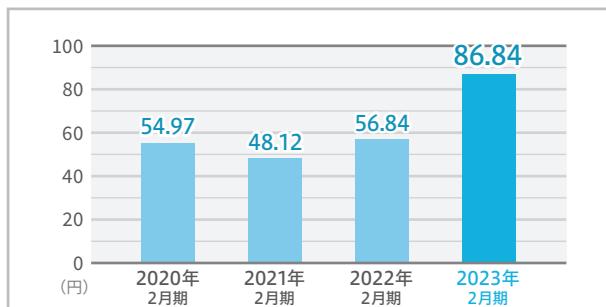
## 親会社株主に帰属する当期純利益



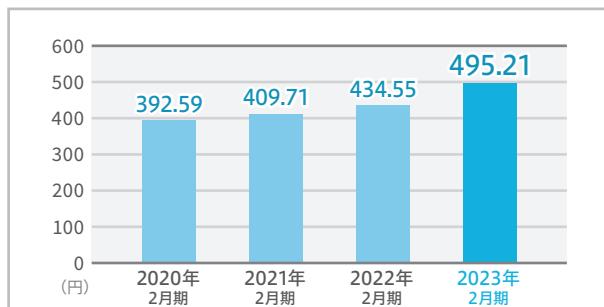
## 純資産 / 総資産



## 1株当たり当期純利益



## 1株当たり純資産



※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を当連結会計年度の期首から適用しており、2023年2月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

# 財務諸表 (連結)

## 貸借対照表

(単位:千円)

科 目	2022年 2月期	2023年 2月期	科 目	2022年 2月期	2023年 2月期
( 資 産 の 部 )			( 負 債 の 部 )		
流動資産	3,828,480	4,390,078	流動負債	1,058,142	1,125,496
固定資産	821,080	791,630	固定負債	157,561	145,362
			負 債 合 計	1,215,703	1,270,858
			( 純 資 産 の 部 )		
			株主資本	3,418,701	3,895,914
			新株予約権	15,156	14,935
			純 資 産 合 計	3,433,857	3,910,850
資 産 合 計	4,649,561	5,181,708	負 債 純 資 産 合 計	4,649,561	5,181,708

## 損益計算書

(単位:千円)

科 目	2022年 2月期	2023年 2月期
売上高	8,163,775	8,159,159
売上原価	6,607,020	6,535,251
売上総利益	1,556,754	1,623,907
販売費及び一般管理費	953,287	980,496
営業利益	603,467	643,410
営業外収益	34,635	18,068
営業外費用	182	4,459
経常利益	637,920	657,019
特別利益	-	373,505
特別損失	-	22,632
税金等調整前当期純利益	637,920	1,007,892
法人税等合計	190,762	324,667
当期純利益	447,158	683,224
親会社株主に帰属する当期純利益	447,158	683,224

## キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	2022年 2月期	2023年 2月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	430,859	525,461
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,716	400,460
財務活動によるキャッシュ・フロー	△250,549	△262,372
現金及び現金同等物の増減額	169,593	663,550
現金及び現金同等物の期首残高	2,292,163	2,461,756
現金及び現金同等物の期末残高	2,461,756	3,125,306

# 株主優待／配当金

## 株主優待について



毎年8月31日時点で、1単元(100株)以上の株式を保有する株主様に対し、QUOカードを贈呈いたします。

対象	8月31日(基準日)に 1単元(100株)以上ご所有の株主様	
実施回数	年1回	
優待内容	1単元(100株)以上、 10単元(1,000株)未満	500円相当の QUOカード
	10単元(1,000株)以上	2,000円相当の QUOカード

## 配当について

期末配当金領収証(振込ご指定の方には期末配当金計算書等)は、本書とともに同封されております。

### 2023年2月期 期末配当

期末配当金	16.5円
期末配当 株主確定日	2023年2月28日
支払開始日	2023年5月25日

### 2024年2月期 配当予想

中間配当金	16.5円
中間配当 株主確定日	2023年8月31日
期末配当金	16.5円
期末配当 株主確定日	2024年2月29日

### 1株当たり配当金推移



(単位:円)	1株当たり配当金			配当性向 (連結)
	中間配当	期末配当	年間	
2023年 2月期	16.5円	16.5円	33.0円	38.0%
2024年 2月期予想	16.5円	16.5円	33.0円	59.0%

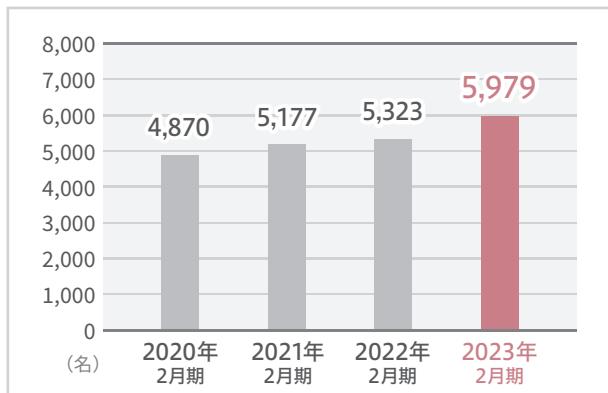
# 株式基本情報／株主情報

## 株式基本情報

証券コード	2186
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場
事業年度	毎年3月1日から 翌年2月末日まで
配当支払株主 確定日	中間：8月31日 期末：2月末日
株主総会	毎年5月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
単元株式数	100株
発行可能株式総数	29,600,000株
発行済株式総数	8,167,498株 (2023年2月28日現在)
株主数	5,979名 (2023年2月28日現在)
公告方法	電子公告 (事故その他やむを得ない事由が生じ、電子公告を行うことができない場合には、日本経済新聞に掲載します)

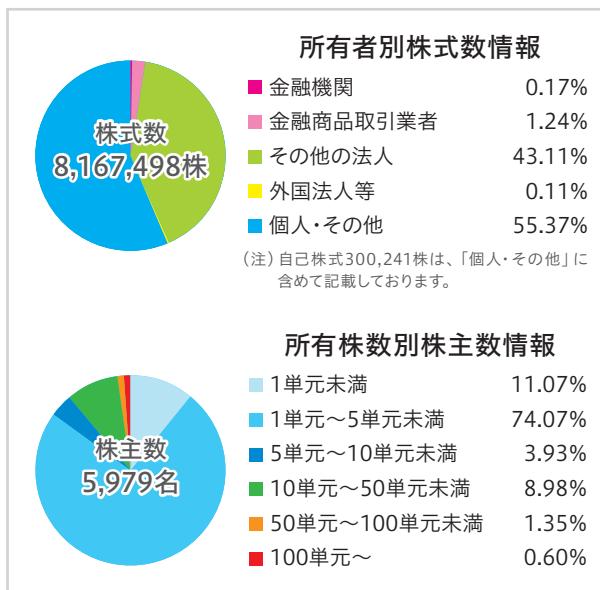
## 株主数推移

(2023年2月28日現在)



## 株式分布状況

(2023年2月28日現在)



## 大株主

(2023年2月28日現在)

株主名	持株数	持株比率
エバーコア株式会社	3,480,000株	44.2 %
ソーバル従業員持株会	690,500株	8.8 %
川下 奈々	377,440株	4.8 %
推津 敦	377,440株	4.8 %
丸田 卓	110,000株	1.4 %
町田 泰則	43,000株	0.5 %
推津 順一	40,080株	0.5 %
推津 幸子	40,040株	0.5 %
和田 位	36,500株	0.5 %
株式会社SBI証券	35,260株	0.4 %

(注) 持株比率は、自己株式数(300,241株)を控除して計算しております。

# 会社情報 / 株式手続き

## 会社概要

(2023年2月28日現在)

社名	ソーバル株式会社
設立	1983年1月
本社所在地	〒141-0001 東京都品川区北品川5-9-11大崎MTビル
資本金	214百万円
事業内容	エンジニアリング事業 ・アプリケーション開発 ・WEB・クラウド開発 ・組込み開発(ソフトウェア・ハードウェアの設計開発) ・マニュアル制作
従業員数	連結:851名 単体:709名
公式サイト	<a href="https://www.sobal.co.jp/">https://www.sobal.co.jp/</a>

## 株式手続き

住所変更、配当金受取方法の指定、  
単元未満株式の買取・買増請求等

口座を開設されている証券会社へお問合せください

未払配当金の支払請求、郵送物の発送・返戻について  
特別口座に記録された株式について

三菱UFJ信託銀行株式会社(証券代行部)へお問合せください

テレホンセンター：0120-232-711

受付時間：9:00～17:00(土日祝休み)

<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

【郵送物送付先】

〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

## 役員紹介

(2023年5月24日現在)

取締役	
代表取締役社長 兼 最高経営責任者	推津 敦
取締役	東谷 正雄
取締役	山林 敬
取締役(社外取締役)	高木 友博

監査役	
常勤監査役	伊藤 光男
監査役(社外監査役)	鴛海 量明
監査役(社外監査役)	河崎 健一郎

執行役員	
執行役員	稲葉 勝巳
執行役員	河原 浩一
執行役員	大久保 仁美
執行役員	島谷 裕一
執行役員	西岡 建太
執行役員	杉山 義雄
執行役員	井上 一幸

 ソーバル株式会社	 IRサイト	 お問合せ
ソーバル IR情報 <a href="https://www.sobal.co.jp/ir/">https://www.sobal.co.jp/ir/</a>		